

平成 29 年 3 月 27 日

報道機関各位

## 東北活性化研 「2016 年度 東北圏社会経済白書」を刊行

### —人口減少社会における「生活の足」を考察—

公益財団法人東北活性化研究センター（会長：海輪誠・東北電力株会長）は、「知をつなぎ、地を活かす」を活動理念として、東北地域の活力向上と持続的な発展に寄与していくことを目指しております。

こうした事業の一環として、この度東北圏内の社会経済調査及び分析を取りまとめた「2016 年度 東北圏社会経済白書」を刊行いたします。

「2016 年度 東北圏社会経済白書」は、3 部から構成されています。第 1 部「東北圏における社会経済の現状と今年の変化」では、社会経済の主要指標から東北の現状、特徴を明らかにすると共に、見える化されたデータから東北を見る試みにも触れております。第 2 部では、今年度のトピックとして、「東北圏における公共交通機関のあり方」について取り上げております。人口減少に伴って生活インフラの危機が叫ばれる中、「生活の足」である公共交通をどうしていくべきか、圏内市町村へのアンケートなどを基に東北圏における現状と今後の方向性などについて論じています。第 3 部は資料編とし、東北圏の各種データをまとめて掲載しています。

本年度もアドバイザリー会議委員のコラムを掲載し、吉田浩東北大学教授の「東北圏における幸福と貧困」や、折橋伸哉東北学院大学教授による「人口減少と自動車産業」などタイムリーなテーマに関する所論も掲載しております。

なお、同白書は、自治体、大学、地域シンクタンク、経済団体等に配布いたします。  
(非売品)

以上

#### 【お問い合わせ先】

公益財団法人東北活性化研究センター 調査研究部 木村  
〒980-0021 仙台市青葉区中央 2 丁目 9-10 セントレ東北9階  
TEL 022-222-3394 FAX 022-222-3395  
E-mail chosa@kasseiken.jp